

平成29年

福祉文教委員会

2月6日

豊明市議会

福祉文教委員会会議録

平成29年2月6日

午前11時25分 開会

午前11時46分 閉会

1. 出席委員

| | | | |
|-----|---------|------|-------|
| 委員長 | ふじえ 真理子 | 副委員長 | 宮本 英彦 |
| 委員 | 蟹井 智行 | 委員 | 近藤 郁子 |
| 委員 | 山盛 さちえ | 委員 | 三浦 桂司 |
| 委員 | 一色 美智子 | | |
| 議長 | 月岡 修一 | | |

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

| | | | |
|-------------------|-------|--------|-------|
| 議会事務局長 | 石川 晃二 | 議事課長 | 馬場 秀樹 |
| 議事課長補佐 兼庶務担当係長 | 平野 幸子 | 議事担当係長 | 水野 美樹 |

4. 説明のため出席した者の職、氏名

| | | | |
|--------|-------|----------|-------|
| 市長 | 小浮 正典 | 副市長 | 坪野 順司 |
| 教育長 | 伏屋 一幸 | 教育部長 | 加藤 賢司 |
| 学校教育課長 | 堀井 浩二 | 学校教育担当係長 | 若井 雅宏 |
| 庶務担当係長 | 後藤 明紀 | | |

5. 傍聴議員

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 富永 秀一 | 郷右近 修 | 鵜飼 貞雄 | 毛受 明宏 |
| 近藤 千鶴 | 早川 直彦 | 近藤 善人 | 杉浦 光男 |

6. 傍聴者

なし

午前 11 時 25 分開会

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） ただいまより福祉文教委員会を開会いたします。
会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 総務委員会に引き続きまして福祉文教委員会の開催、まことにありがとうございます。本委員会に付託されました案件は、平成28年度豊明市一般会計補正予算案1議案でございます。慎重な審査をどうぞよろしくお願いいたします。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

続いて、議長が御出席でありますので、挨拶をお願いいたします。

○議長（月岡修一議員） 皆様、御苦労さまです。

今、市長の言うとおりでございますので、しっかりと御審議、よろしくをお願いいたします。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

ここでお諮りいたします。市長におかれましては自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。

それでは、市長におかれましては自席待機といたしますが、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、よろしくお願いいたします。

（市長退席をなす）

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。

議案第3号 平成28年度豊明市一般会計補正予算（第9号）のうち、本委員会所管部分についてを議題とします。

本案につきまして、理事者の説明を求めます。

堀井学校教育課長。

○学校教育課長（堀井浩二君） それでは、学校教育課所管分について説明をいたします。

このたびの補正につきましては、国の2次補正に申請をしておりました、小中学校の屋内運動場や柔剣道場の非構造部材の耐震改修工事などが採択されたことによるものでございます。

それでは、歳出から説明いたしますので、7、8ページをごらんください。

中段をごらんください。10款2項1目1 小学校施設維持管理事業、各小学校営繕工事費2億2,190万円の増額は、豊明小、大宮小、唐竹小の屋内運動場非構造部材耐震改修等工事費と、双峰小、大宮小、舘小の図書室空調設備設置工事費でございます。

下段をごらんください。10款3項1目1 中学校施設維持管理事業、各中学校営繕工事費1億1,340万円の増額は、豊明中、栄中、沓掛中の柔剣道場非構造部材耐震改修等工事費と、豊明中、栄中、沓掛中の飛散防止フィルム設置工事費でございます。

続いて、歳入の説明をいたしますので、5、6ページをお開きください。

上段の13款2項6目3 学校施設整備費補助金、公立学校施設整備費補助金9,774万円の増は、歳出で説明しました工事に対する国からの補助金でございます。

下段の20款1項6目1 学校施設改修事業債2億1,930万円の増は、歳出で説明しました工事に対するものでございます。

第3表、繰越明許費及び第4表、地方債の補正について説明いたしますので、4ページをお開きください。

第3表、繰越明許費ですが、10款 教育費、2項 小学校費、小学校施設維持管理事業と、3項 中学校費、中学校施設維持管理事業について、国の補正予算に合わせて予算計上したところですが、事業完了が年度内に見込めないために繰り越しをお願いするものでございます。

第4表、地方債ですが、学校施設改修事業のための限度額を4億4,910万円に変更をお願いするものでございます。

以上で、学校教育課所管の補正予算の説明を終わります。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 今説明いただいた屋内運動場等の天井撤去工事と窓ガラス飛散防止フィルムの設置工事と図書館への空調機設置工事は、今回をもって、これで全て完了と考えてよろしいですか。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

堀井学校教育課長。

○学校教育課長（堀井浩二君） 空調だけが、あと唐竹小学校が残っております。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 その唐竹小学校の空調機設置工事はいつになりますか。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

堀井課長。

○学校教育課長（堀井浩二君） 30年度を予定しております。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 本会議場で、小中それぞれのつり天井だとか飛散防止フィルムだとか空調の金額を説明していただいたんですが、ちょっとメモし切れていませんので、事前にいただいております補正予算の内容の事業内容の①に、屋内運動場や柔剣道場のつり天井の撤去工事という部分の、小学校3校分の事業費、それから中学校3校分の事業費、それから飛散防止、それから3番の空調、それぞれについて、金額をまず、もう一度になりませんが教えてください。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

堀井学校教育課長。

○学校教育課長（堀井浩二君） まず、小学校のほうでございます。屋内運動場のほうですが、豊明小が7,000万、大宮小、唐竹小が6,500万、それから、同じく小学校の図書空調ですが、全て3校とも730万を予定しております。中学校のほうですが、柔剣道場でございます。1校当たり2,700万を予定しております。あと1点、飛散防止フィルムですが、こちら1校当たり1,080万を予定しております。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 飛散防止フィルムの1校当たり1,080万円の件ですけれども、今まで小学校の飛散防止フィルムの設置は済んできたかと思いますが、例えば1平米というような、どういう単位で試算されるのかわかりませんが、同じ単価で比較した場合のこの1,080万円というのはどういう状況にあるのかお願いいたします。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

堀井課長。

○学校教育課長（堀井浩二君） 中学校の工事につきましては当初より、工事費1,000万、消費税込みで1,080万ということで計画されておりましたので、そちらの金額を上げてあります。

以上です。

済みません。現在、詳しい設計は現在発注途中でございます。3月の27日までかかりますので、今現在は詳しい数字はわかっておりません。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 飛散防止フィルムの設計委託の件につきましては前の議会でも若干質問等出たかと思えますけれども、となると、今回の1校当たり1,080万円というのは、何でしょう、足場を組むだとか、人工料が何々だとか、そういうのではなく、全くざくっとした数字になるのでしょうか。実際の、今までの経験というか、飛散防止フィルムの設置工事の状況からいくと、この1,080万円というのはどのような感じで受けとめればよいのでしょうか。お願いします。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

堀井学校教育課長。

○学校教育課長（堀井浩二君） 当然、工事の内容は、普通教室、それから避難経路の窓といったもの、あと、保健室、校長室とか入っておりますので、面積に合わせて計算をかけております。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 なので、これまでの工事の契約と比較してこの1,080万円はどうかというのを聞きしたかったんですけど、詳しいのはまだわからないんですけども、今回の1校当たりのこの金額というのは、なぜ、じゃ、こういうふうになったんですか。他校と比較して、もう既に済んでいる飛散防止フィルムの設置工事と、そこから積算されたものなのか、そうではないものなのか。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

堀井課長。

○学校教育課長（堀井浩二君） こちらの中学校に関しましては、実施計画の金額をそのまま上げております。

以上です。

(発言する者あり)

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） 飛散防止フィルムにつきましては、過去にも施工をしておりますので、過去の施工の結果と、あと実施計画にも計上させていただいておりますけども、そちらをもとに計上させていただいております。具体的には、先ほどお話ししたとおりで、現在設計は発注をしておりますので、そちらのほうで精査した金額は上がってまいりますので、そちらのほうで発注をさせていただきたいというふうに考えております。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 今議会、この1,080万、1校当たりで予算を認めていくわけですね。契約のときにはまた違う数字で契約をされるというような説明だと思んですけども、飛散防止フィルムについては、前、入札のときに非常に安価で入札をされていたりだとか、再入札されたりとか、いろいろとありましたので、今回のこの額が前提になって契約の金額が決まっていったり、あるいは積算されるときの根拠がこの1,080万円になったりすると高くなってしまわないか、高どまりするんじゃないかということを心配してお聞きしているわけですが、じゃ、今現在、1,080万円の妥当性については私たちはよくわからないけれども、これで認めてほしいという、そういうことになるのでしょうか。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） 今、山盛議員の御指摘の件で、27年度のフィルムの施工分につきましては、先ほど、今御指摘をいただいたとおりでございます。26年度にも実は実施をしております、28年度、今年度も実施をしております。そちらについてはですね、私ども、適正になされておるというふうに思っております、実際にはフィルムについても同等品ということで指定をさせていただきましたけども、過去3カ年におきましても同等品、同じものが入っております。

ということでありまして、今回につきましても、フィルムについては過去と同じものを使用させていただいて、入札についても過去と同様にさせていただくということと、ある程度面積についても把握はできておりますので、過去の分を参考にさせて計上させていただいたということがございますので、実際に、これより設計が上がってきて予算額が少なくなったような場合については、当然、実施についてもその設計に基づいて入札をさせていただくということになると思います。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 3つ目の図書館の空調ですけれども、これも1校当たり730万円ということで積算されていますが、これも今回が初めてのことでありませんが、他校の空調機器の設置と比較して、この730万円の根拠というか、妥当性について説明してください。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

堀井学校教育課長。

○学校教育課長（堀井浩二君） 今回の3校につきましては、館小学校が135平米ありますので、あとの学校については129、127平米でございます。館小学校を基準としまして、その面積を基準としまして床面積で計上しております。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 床面積といっても、今129と135で6平米で、そんなに大きく変わるわけではありませんが、その面積が変わると機器が変わったり工事の金額が変わったりするんですか。室外機が、例えばどうこうで、中に2つつくるとか、この容量のものを2つ、3つ、わかりませんが、どういうふうにつけてくと730万円になるのか、その辺については、他校と、今までの実績と比較してどうかということでお答えいただきたいんですが。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） こちらの件も先ほどの飛散防止フィルムと同様に、過去にも工事をしております。ということで、過去の大体の金額というのは把握はできておりますので、それをもとに計上させていただきました。

あとは、今、課長のほうから御説明しましたとおり、3校とも延べ床面積はほぼ同じでありますので、そちらにつける空調機の容量等についてもほぼ同じであろうということでありまして、金額も730万円という金額で計上させていただいております。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 ちなみに、一番直近の同じぐらいの面積の空調機器の契約金額を教えてください。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） 今年、4校実施をしております。4校実施をしておりまして、合計としまして2,280万円程度の金額でございました。ただ、こちらのほうは小学校3校と

中学校1校ということですので、実際に面積でいいますと、やはり小学校のほうが、延べ床面積、大きいということですので、単純に割り戻すともうちょっと金額が違うかなというふうには思います。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 私の質問は、ほぼ同じぐらいの面積だというふうに、小学校の図書室ですか、ということでしたので、この3校が一緒に他の学校が大きく違うということは、余り私はイメージをしておりませんが、同じ面積ぐらいの空調が幾らで契約されたのか、4校まとめてじゃなくて、4校まとめて2,280万円を単純に4で割ると570万円になりますが、1校当たりどういう額で契約されたのか、改めて答弁をお願いします。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） 小学校3校がですね、栄小学校と三崎小学校と沓掛小学校、3校同時に入札をしております。そちらのほうの額が1,809万2,493円でございます。これは変更後の金額でございます。あと、中学校のほう、こちらは1校単独でお願いをしております。469万5,507円でございます。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 その小学校の3校1,800万円余ですけども、3校分を、金額を3で割るとおおよそ600万ということになりますけれども、面積、それからその機械の機器の数等は同じでしょうか。同じとすれば600万と730万円の差額はどのように理解すればいいでしょうか。お願いします。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） 今回、計上させていただいておりますのは予算額でありますので、そこで適正な入札行為があったということで、予算額から実際に落ちて落札額があったということでございますので、そこに当然、差異は出るのかなというふうには考えておりますので、今回の計上額が過大であるとか過小であるかということであるのであれば、私ども、適正に計上しておるなというふうには考えております。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 本会議でも少しお伺いいたしましたが、この2校の、ああ、2校じゃないや、小学校、中学校の営繕工事の起債について、説明ですと、交付税の対象になったりして有利だから、できるだけ枠いっぱいまで借りるんだという説明だったというふうに思いますが、どのくらい有利になるのか、借金をすれば当然、利子もついてまいります、その有利の度合いについての説明をお願いいたします。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） 今回の補正予算の取り扱いにつきましては、昨年10月、国のほうから、補正予算に対する取り扱いということで、総務省から通知がございます。その中で指摘というか、その中で定められておるのが、予算の充当率については100%ですよということがございます。先ほど行政経営部長がお話をしたんですけれども、予算にも、例えば起債には充当率というのがございます。今回、つり天井とフィルムとエアコンと3種類があるわけですけども、つり天井については当初の起債の充当率は90%でございます。フィルムについては75%、エアコンについても75%でございます。ということもございまして、今回、補正予算が100%つきますので、100%持ち上がった分、起債の額がふえるということでございます。

それに関して何で有利かという、ここに交付税の措置の額が絡んでまいりますので、交付税につきましても、つり天井については当初は60%の元利償還分についての交付税の算入がありますので、そちらは同じく60%なんですけれども、フィルムとエアコンについては、元利償還分の算入はございません。当初はゼロでございます。こちらの補正予算がつくことによって、これ、50%の元利償還が算入されますので、そういうことでも起債を借りたほうが有利であろうということで財政当局が判断をされて、起債をつけておるといふことであると思っております。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 その仕組みについての有利な、有利だという説明はわかるんですが、実際その額面というか、数字上どうなのかというのがちょっと全然つかめないものですから、今、金利がとても安いですし、交付税の算入だとか、いろいろ特別な措置があるということだと思いますが、どのくらい有利になるのかというのは、数字としてはつかんではいらっしやいますか。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） 今、交付税の算入の、私、お話をさせていただいたんですけども、交付税の制度として、需要額と収入額があつて、その差額に対して交付税が交付されるということでございますので、そのほかの部分が今わからない中でのお話というのはなかなか全体像がお話しできんかなというふうには思います。

ただ、昨年の義務教の関係の起債については、利率は0.1%で借りておりますので、多分、今年もその利率でいけるのではないかな、そんな差異はないというふうには思っておりますので、交付税がついた上でなおかつ0.1%で借りるということであれば、これは大変有利な起債であるので、借りたほうがいいのかというふうには私は思いますけども、ただ、これは財政当局が決めたお話ですので、そこまでは、私はちょっとお答えはできませんけれども。

以上です。

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第3号のうち本委員会所管部分については、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第3号のうち本委員会所管部分については、全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は全て終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

委員会報告書については例に従い提出をさせていただきます。

御審査、御苦労さまでした。これにて福祉文教委員会を閉会いたします。

午前11時46分閉会